



《第26回日本サイコネフロロジー研究会にて》

耐酸性カプセル入りビフィズス菌の摂取による糖尿病性腎症
患者の便秘改善と、心身の健康状態に関する研究成果を発表

【日時】2015年5月23日(土) 18:00-18:30/【会場】ホテルメトロポリタン高崎 6階 白鷺

森下仁丹株式会社(本社:大阪市中央区、代表取締役社長:駒村純一)は、2015年5月23日(土)から5月24日(日)にホテルメトロポリタン高崎(群馬県高崎市)で開催される「第26回日本サイコネフロロジー研究会」にて、糖尿病性腎症患者における耐酸性カプセル入りビフィズス菌の摂取による便秘改善作用とそれに伴う心身の健康状態に関する研究成果をポスター発表いたします。

これまで森下仁丹では共同研究などで、耐酸性カプセル入りビフィズス菌の摂取による透析患者の血中リン値の低下や、腎不全ラットを用いた同カプセル製剤による血中リン低下作用機序についての研究を行ってきました。今回の研究成果により、同カプセルの摂取によって、新たに糖尿病性腎症の身体的症状に対する不安や問題が軽減されることが明らかになりましたので、その結果をポスター発表いたします。

《「森下仁丹」発表概要》

- ◆日 時: 2015年5月23日(土)18:00-18:30
- ◆会 場: ホテルメトロポリタン高崎 6階 白鷺
- ◆セッション名: ポスター発表「調査発表」
- ◆演 題: 糖尿病性腎症患者における耐酸性カプセル入りビフィズス菌の摂取による便秘改善効果と GHQ-28 による心理変化の検討
- ◆発表者: 辻 義弘^{1),2)}, 吉岡 健太郎¹⁾, 河野 麻実子³⁾, 鈴木 尚紀¹⁾, 田尻 伸弘¹⁾, 人見 泰正¹⁾, 加藤 かおり⁴⁾, 吉田 俊子⁴⁾, 水野(松本) 由子²⁾
桃仁会病院 臨床工学部¹⁾, 兵庫県立大学大学院 応用情報科学研究科²⁾,
森下仁丹(株)研究開発本部³⁾, 淀川キリスト教病院 腎臓内科⁴⁾
- ◆演題番号: P-4

《「第26回日本サイコネフロロジー研究会」概要》

- ◆日 時: 2015年5月23日(土) ~ 24日(日)
- ◆会 場: ホテルメトロポリタン高崎(群馬県高崎市八島町 222)
- ◆会 長: 渡辺 俊之(高崎健康福祉大学健康福祉学部 教授、東海大学医学部 非常勤教授、日高病院医師)
- ◆研究会テーマ: 私の医療?あなたの医療?—Relational Medicine とは何か

「日本サイコネフロロジー研究会」:

透析患者や腎移植患者の精神的諸問題を解決することを目的に発足した会です。医師(透析医、移植医、精神科医)、看護師、臨床工学士、ソーシャルワーカー、臨床心理士が参加し、透析患者や腎移植患者の「心のケア」を考え、患者さんや家族のより良い生活を支えるために研究や支援活動を行っています。今回は「私の医療?あなたの医療?—Relational Medicine とは何か」をテーマに、透析や移植医療において、医療従事者・患者・家族との「関係性」を築くために現場では何が求められているかといった点について考えます。

【リリースについてのお問合せ先】

森下仁丹株式会社 経営企画部 担当:磯部・本山 TEL:06-6761-1134 FAX:06-6761-8108
共同PR株式会社 第六業務局 担当:長尾・広岡 TEL:03-3571-5236 FAX:03-3574-9364

